令和８年度　　御幸が原小学校　学校評価書

１　教育目標（目指す児童像含む）

人権尊重の精神を基盤に，児童が多様な人々との「協働」を通して，自ら考え未来を創造し，たくましく生き抜く人間力の基礎を培う。
〈目指す児童像〉
「発見」: 新しい知との出会いや初めての経験を通して，自分の可能性や仲間のよさを発見する児童
「挑戦」: 明確な目標をもち，仲間と協力しながら困難な課題に取り組み，前向きに夢を追う児童
「創造」: 日々の学びの中から，新しい自分や多様な価値観を生みだし，時代を築く力をもった児童

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

・様々な社会変化に柔軟に対応し，新しい時代を生きる力を育成するため，児童自らが考え行動しながら自己表現できる機会の創生と，仲間との「協働」を通して豊かな人間性を育む教育活動を展開する。
・教職員がそれぞれの強みと熱意，英知を集結し，家庭・地域と連携しながら活気に満ちた教育環境を醸成する。

３　学校経営の方針（中期的視点）　※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に〇印を付ける。

（１）児童が個々の力を発揮するとともに，仲間と互いのよさを認め合いながら，新しいことに挑戦し伸びていく機会の創出に努める。
（２）教職員は児童一人一人の良さを認め課題に寄り添いながら，褒めて励ます指導を通して児童との信頼関係の構築に努める。
（３）地域社会・保護者・地域学校園内小中学校と連携し，目標を共有しながら，地域教育資源の効果的な活用を図ることにより，「社会に開かれた教育課程」の具現化に努める。
（４）「児童が課題意識をもって主体的に取り組む授業」を通して基礎学力の定着を図るとともに，対話型の課題解決学習を取り入れながら，知識を活用する能力の育成に努める。
（５）教職員が組織力を生かして課題に対峙することで，個々の資質向上及び組織力の向上に努めるとともに，校務の改善や保護者ボランティアの効果的な活用を通して，教職員の勤務時間の適正化を図る。

【鬼怒地域学校園教育ビジョン】
自分でよく考え　未来に向かって　たくましく生きる子供の育成

４　教育課程編成の方針

・各教科の指導内容との関連性を重視し，学年行事・特活・総合的学習等の時期や内容を設定する。
・地域社会の教育資源を効果的に活用し，学習活動の場の広がりや習得の深まりを目指す。

５　今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇印を付ける。

（１）学校運営
・教職員が学校課題を共有し，方向性を明確にして解決に向かう学校組織の機能向上。
〇児童一人一人が自分の居場所をもち，仲間と認め合いながら，力を発揮できる場の創生。
・地域社会や保護者への積極的な情報発信による信頼関係の構築と地域教育力の効果的な活用。
・校務ＤＸによる業務改善の推進。
（２）学習指導
〇自分自身の目標や協働して課題解決に取り組む活動を通した，主体的に学びに向かう力の育成。
・習熟度別学習やＩＣＴの効果的な活用による学習内容の確実な定着と理解の深化の追究。
・特別支援教育の充実による特性に応じた力の獲得。
・校内サポート事業を活用し，一層の授業改善を目指すとともに今年度の課題研究の推進を図る。
（３）児童生徒指導
〇認め励ます指導を通した自己肯定感の涵養と，目標をもち活動に主体的に取り組む態度の育成。
・規範意識の高揚と，多様性を理解し仲間と認め合いながら伸びていく集団の形成。
・ＳＮＳ，通信型ゲームを起因とする問題行動の早期把握と指導体制の構築。
（４）健康（体力・保健・食・安全）
・児童が運動能力に関する自分の課題を知り，楽しみながら体力の向上を図る体育活動の充実。
〇「健康・安全」「食」に関する課題の把握と，実践力を伴う生活改善の意識の育成。
・感染症拡大防止に関する正しい知識の理解と，生活習慣の確立。

６　自己評価　A1～A20は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<table>
<tr><th>第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策</th><th>評価項目</th><th>主な具体的な取組</th><th>方向性</th><th>評　価</th></tr>
<tr><td>１－（１）
確かな学力を育む教育の推進</td><td>Ａ１　児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。
【数値指標】
⇒児童・教職員の肯定的割合８５％以上</td><td>①　漢字の読み書きや計算力の定着を図るため，指導を充実させる。
・朝の学習の時間を活用した必要に応じた学習支援の充実（各学年に応じたドリルやプリントなど）
・ＡＩドリルの活用
②　家庭学習習慣の確立のための工夫を図る。
・「みはらっ子家庭学習の手引き」の活用
・「家庭学習強化週間」を年２回実施する。
・自主学習ノートの活用と啓発と保護者への協力依頼
③　学び合いや話合い活動の場を効果的に取り入れる。
・話合いの意図的な設定と工夫
・話し方・聞き方の決まりの活用
④　学習活動に必要かつ効果的な場面で図書の活用を図る。
⑤　子ども同士の情報共有や認め合いの活動にＩＣＴ機器の活用を図る。
⑥　漢字オリンピックテストの実施
⑦　「振り返りの言葉」のシートを活用し，次時への学習につなげる。</td><td></td><td>【達成状況】
<table><tr><th></th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td></tr>
<tr><td>１－（２）
豊かな心を育む教育の推進</td><td>Ａ２　児童は，思いやりの心をもっている。
【数値指標】
⇒児童・教職員の肯定的割合８０％以上</td><td>①　どの子にも居心地のよい学級づくりを目指す。
・Q-Uテストの実施，事例研究会実施，活用
・授業や日常生活において，望ましい言葉づかいや友達を敬称（～さん）で呼ぶ指導を更に定着させ，自他を大切に思う心や態度を養っていく。
・学級活動などで，互いを認め合う場を設定する。
②　道徳の授業を通して，自他を大切に思う心や態度を養い，日々の生活に生かす力を育成する。
・学年内で道徳の授業の教材を共有し，道徳の授業を充実させ，授業後に学んだことをふり返ることができるようにする。</td><td></td><td>【達成状況】
<table><tr><th></th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td></tr>
</table>

	Ａ３　児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童・教職員の肯定的割合８５％以上	①　各教科の授業や各種検定等において，児童が目標をもって取り組む機会を設けるとともに，目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。 ・学年に応じた目標を児童に提示し，個人のめあてをもたせ，意欲的に取り組めるように指導する。 ・「めざせスーパーみはらっ子」への取組に意欲的に取り組んだ児童を賞讃する。 ②　学級活動や道徳の授業をとおして目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせる。 ・学級活動において学校行事に向けた目標を立てたり，道徳の授業において粘り強く取り組むことのよさを考えさせたりする。 ・学級活動や道徳の授業において，行事のふり返りを行い，目標をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付かせるとともに，そうした実践に向けた意欲を高める。		【達成状況】 R7 / R8 児童 / 教職員 【次年度の方針】
１－（３）健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　児童は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 ⇒児童・教職員の肯定的割合８０％以上	①　昨年度の生活についての実態調査等をもとに基本的生活習慣について（特に睡眠時間・食生活），家庭との連携を図り啓発や指導をする「ノースマホ・ノーゲームデーにおけるスマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言 ver.2」を活用したルール作り…養護教諭との連携 ②　児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるよう，学級活動，体育，学校行事と関連を図った保健指導や日常の生活指導を行う。 ③　学校給食と各教科等との関連を図った指導のもと，栄養のバランスのとれた食事や望ましい食習慣の形成を図る。 ④　危機を予測し自らの命を守り抜く行動力を育成するため，日常指導における安全指導を充実するとともに，交通安全教室，避難訓練等を計画的に実施する。		【達成状況】 R7 / R8 児童 / 教職員 【次年度の方針】

1－（4） 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　児童は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 ⇒児童・教職員の肯定的割合 児童８５%以上 教職員９０%以上	①　宮・未来キャリア教育年間指導計画に基づき，児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲や，協働的な活動を通して，望ましい勤労観や職業観を，全教育活動を通して意図的・計画的に育む。 ②　家庭や地域社会との連携による体験的活動を実施し，児童が将来の夢や希望を描いたり，実現に向けて努力したりする態度を育成する。 ③　キャリアパスポートを効果的に活用し，担任や保護者からコメントを記入し，児童にフィードバックすることで，自分の成長を振り返る場面を設ける。またマッチョマンカードもキャリアパスポートファイルに綴じることで自己肯定感を高められるようにしていく。		【達成状況】 R7　R8 児童 教職員 【次年度の方針】
2－（1） グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　児童は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 ⇒児童・教職員の肯定的割合 ８５%以上	①　外国語活動(英語活動)を通じて，言語や文化について体験的に理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 ②　日常的に英語のあいさつやゲームを取り入れたり，英単語カードを校内に掲示したり，ＡＬＴとの交流の機会を増やしたりして，児童が英語に親しむ環境を整える。 ③　振り返りカードを各クラスで活用し，自らのコミュニケーションについての態度を振り返るようにする。評価にも生かす。		【達成状況】 R7　R8 児童 教職員 【次年度の方針】
	Ａ７　児童は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 ⇒児童・教職員の肯定的割合 ８５%以上	①　生活科，道徳，社会科，総合的な学習の時間（宇都宮学）の授業や，食育などの各種教育活動，市内や地域での校外学習等において，学習内容に関連させながら児童が宇都宮市や御幸ヶ原町の良さに気付く指導に努める。 ②　教師自身が宇都宮市や御幸ヶ原町の歴史，文化，伝統産業，特産物等について理解を深められるよう努める。 ③　宇都宮に関わる図書資料を図書室に置いたり，新聞記事やデジタル教科書を活用したりして，宇都宮に親しむ環境を整える。		【達成状況】 R7　R8 児童 教職員 【次年度の方針】

<table>
<tr>
<td>２－（２）
情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</td>
<td>Ａ８　児童は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。
【数値指標】
⇒児童・教職員の肯定的割合８５％以上</td>
<td>①　児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に親しみ，適切に活用する能力を育成できるよう，授業において積極的にＩＣＴ機器を活用する。
②　各学年のその時期の授業内容との関連に配慮した教育図書の活用に努める。
③　ＩＣＴ機器の活用研修を適宜実施する。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td>２－（３）
持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進</td>
<td>Ａ９　児童は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。
【数値指標】
⇒児童・教職員の肯定的割合８０％以上</td>
<td>①　各教科や領域，児童会活動における環境教育を通して，環境問題への関心を高め，環境と調和しながら生きる意識や態度を育成する。
・生活科，理科，社会，道徳，家庭科の学習との関連，５年総合的な学習「SDGs について学ぼう」での探究学習を取り入れる。
・年間指導計画を整備し，SDGs を意識しながら指導する。
・健康委員会の食育推進活動
・環境委員会の SDGs 推進活動
②　人権教育年間指導計画に基づき，全教育活動を通して人権教育を計画的に実施する。
③　過去の災害の具体事例から学ぶ教材を工夫したり，避難訓練時の事前・事後指導において過去の災害に触れる機会を設けたりして防災教育を充実する。
④　SDGs に関する図書資料や掲示物のコーナーを作り，児童の関心を高める。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td>３－（１）
インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</td>
<td>Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする児童の実態に応じて，適切な支援をしている。
【数値指標】
⇒教職員の肯定的割合９０％以上</td>
<td>①　特別支援教育コーディネーターや児童指導主任を中心に，全校で特別な支援が必要な児童に関する共通理解を図り，一人一人のニーズを踏まえた支援を組織的に行う。
・定期的にケース会議や校内支援委員会を開催する。
・「チームみはらの特別支援教育」の推進
②　特別支援学級の児童はもとより，通常学級においても，必要に応じて個別の教育支援計画を作成し，それに基づいて合理的な配慮を行う。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
</table>

3－（2） いじめ・不登校対策の充実	A11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 ⇒児童・保護者の肯定的割合 児童　８５%以上 保護者８０%以上	①　いじめの早期発見・早期対応のためのアンケートを実施し（年４回），気になる児童への事後指導を行う。 ②　いじめゼロ強調月間（５月・９月）の取組を実施し，いじめは決して許されないことを理解させる。 ・いじめゼロ標語を作成・掲示し，いじめゼロに対する意識の涵養を図る。 ③　いじめ対策における学校での取組を,学校だよりやさくら連絡網などに掲載し，保護者に伝え，連携を図る。 ④　人権週間に人権標語を作成・掲示し，児童の人権感覚と意識の涵養を図る。		【達成状況】 | | R7 | R8 | | 児童 | | | | 保護者 | | | 【次年度の方針】
	A12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的割合８５%以上	①　児童の自己肯定感を高められるよう，児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに，担任も認め励ます指導に努める。 ・「めざせスーパーみはらっ子」カードの活用 ・当番活動や係活動など，児童が活躍する場を多く設定する。 ・学校行事や学級活動等で児童が互いに認め合う場を多く設定する。 ②　教育相談，アンケート，Q-U調査等の結果を活用して，不安を抱え，不適応傾向のある児童の早期発見に校内全体での情報共有を図る。 ③　児童の状況を把握し，登校につなげられそうな場合には，ライジングルーム等の校内資源を活用し，学校での児童の学びを支援する。		【達成状況】 | | R7 | R8 | | 児童 | | | | 教職員 | | | 【次年度の方針】
3－（3） 外国人児童生徒等への適応支援の充実 3－（4） 多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 ⇒児童・保護者の肯定的割合 ８０%以上	①　児童が意欲的に活動できる学校行事の計画・実施に努めるとともに，児童会・委員会活動など児童の主体的活動を積極的に展開する。 ・代表委員会を中心とした委員会活動の活性化 ・学級での活動の充実 ・ふれあい班活動の充実 ②　異学年・幼児・高齢者・地域・学校支援ボランティアなどとのふれあいの機会や交流活動の充実を図る。 ③　授業や様々な活動を通して，教職員が児童のよさや努力を認め励ます指導を行う。 ・「めざせ　スーパーみはらっ子」カードの活用 ④　縦割り班での清掃を通して，さらに異学年の交流を充実させる。		【達成状況】 | | R7 | R8 | | 児童 | | | | 保護者 | | | 【次年度の方針】

４－（１） 教職員の資質・能力の向上	Ａ14　教職員は，分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 ⇒児童の肯定的割合８５%以上	①　学校課題に沿って指導目標を明確にし，分かる授業を目指して指導法の工夫や教材教具の工夫に努める。 ・学習課題，「めあて」の明確化 ・学習の成果を実感でき，次の学習に活かす振り返り活動の工夫 ・分かりやすい板書の工夫 ・話合い活動の充実 ・個に合わせたＩＣＴ機器及び図書の活用 ・児童が主体的に学習に取り組むための指導の手立ての共有 ・一人一授業による情報交換と，教職員の授業力の向上 ②　ＴＴや少人数・習熟度別による指導を充実させ，成就感を味わわせるとともに補充のための学習を充実させる。（３学年～） ③　かがやきルームでの個に応じたきめ細やかな指導により，安心して学習に取り組めるよう支援する。 ④　<u>語彙を増やす取り組みに努める。</u> ・朝の読書の時間の確保 ・家庭学習での音読の奨励 ・辞書の活用		【達成状況】 R7　R8 児童 教職員 【次年度の方針】
４－（２） チーム力の向上	Ａ15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的割合８５％以上	①　「チームみはら」の合言葉のもと，学校の諸課題への対応や，学校行事の準備・運営等に，教職員が相互に助け合いながら一丸となって取り組むよう努める。 ②　教職員の協働性を高めることに視点を置き，困難を感じる業務について助け合える雰囲気を大切にし，気軽に相談し合う。		【達成状況】 R7　R8 児童 教職員 【次年度の方針】
４－（３） 学校における働き方改革の推進	Ａ16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的割合８０％以上	①　学校の働き方改革の視点に立って教職員一人一人が，勤務時間を意識し，業務の効率的な実施や計画的な処理に努める。 ②　教職員の負担軽減に向け，学校の組織運営の改善や，各種行事等の実施方法の改善を行う。 ③職員室にアラームを置き，日直の負担軽減に努める。また，教職員の超過勤務を削減できるよう，保護者や地域の方の理解を得られるよう努める。 ④　業務改革を目指し，年度途中であっても教育課程や校務分掌を見直し，勤務時間内の児童や授業にかかる時間等の充実を図る。 ⑤　業務改善に当たっては，先行実践事例等を実情に応じて積極的に取り入れ，学年主任会や学年会から，改善に向けた職員の考えを吸い上げ，共有し試行する。 ⑥　教職員それぞれの課題や負担感を共有し，改善が図られるよう対策を検討する場を設ける。		【達成状況】 R7　R8 児童 教職員 【次年度の方針】

	Ａ17　児童と向き合う時間を確保できている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的割合８０％以上	①　教職員間の連携を図り，協力し合いながら学校行事等を実施する。 ②　学年や出授業の教員間で，授業に関する情報を交換し，教材等を共有する。 ③　会議や職員研修を精選すると共に，円滑に進められるよう努める。 ④　ミライムやさくら連絡網等の機能を有効に活用し，事務処理に費やす時間を削減できるよう工夫する。		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>Ｒ7</td><td>Ｒ8</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】
５－（１） 全市的な学校運営・教育活動の充実	○Ａ18　学校は,「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ⇒教職員・保護者の肯定的割合８０%以上	①　地域学校園各部会・分科会毎に今年度の基本方針を受けた取組の充実や情報共有を図る。 ②　乗入れ授業やあいさつ運動の実施，小中間の引継ぎの充実を図り，中１ギャップの緩和に努める。		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>Ｒ7</td><td>Ｒ8</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】
５－（２） 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 ５－（３） 地域と連携・協働した学校づくりの推進	Ａ19　学校は，家庭・地域・企業等と連携･協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 ⇒保護者・地域住民の肯定的割合８５%以上	①　御幸が原小学校地域協議会を定期的に開催し，学校経営方針への保護者，地域住民の意見反映や，学校関係者評価の実施などを行う。 ②　校外での体験活動時の安全確保や，授業への支援などへの協力，参画を得て，学校支援ボランティアを有効に活用する。 ③　家庭や地域社会との連携による体験的活動を実施し，児童が将来の夢や希望を描いたり，実現に向けて努力したりする態度を育成する。 ④　家庭学習強調週間を設け，学習習慣の定着のために家庭と連携を図る。		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>Ｒ7</td><td>Ｒ8</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】
６－（１） 安全で快適な学校施設整備の推進	Ａ20　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ⇒教職員・保護者の肯定的割合 保護者８５%以上 教職員９０%以上	①　毎月，各教室，特別教室，廊下，体育館等を，チェック項目に基づく安全点検を実施し，　危険個所については迅速な改善や修繕に努める。 ②　危機管理マニュアルを整備するとともに，避難訓練や引き渡し訓練等を通して，火事，地震，竜巻，不審者侵入等の不測の事態への備えを万全にする。 ③　感染症（新型コロナウイルス・インフルエンザ）対策，熱中症予防対策など，時期に応じた保健指導管理に努めるとともに，スーパーみはらっ子の取り組みとも関連させ，児童の健康への意識を高めさせる。		【達成状況】 <table><tr><td></td><td>Ｒ7</td><td>Ｒ8</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr></table> 【次年度の方針】

<table>
<tr>
<td>６－（２）
学校のデジタル化推進</td>
<td>Ａ21　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。
【数値指標】
⇒教職員の肯定的割合８５％以上</td>
<td>①学習に必要なＩＣＴ環境を整え，児童がデジタル機器やネットワークなどの情報手段を適切に活用する能力を育成できるよう，学年間やＩＣＴ支援員と連携しながら，ＩＣＴ機器を効果的に活用する。
②　学習に必要な図書等を整え，授業内容との関連に配慮した教育図書の整備充実等，教育課程に沿った学校図書館の環境整備に努める。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等</td>
<td>Ｂ１　児童生徒は，時と場に応じたあいさつをしている。
【数値指標】
⇒児童・教職員・地域の肯定的割合８０%以上</td>
<td>①　児童会が中心とする全校児童が参加できるあいさつ運動を実施する。
・学級活動や道徳の授業を通して，あいさつすることの意義について考えさせる機会をもつ。
・「めざせスーパーみはらっ子」カードの活用
・学校だより・学級懇談会であいさつ励行を保護者に伝える。
・校内で「あいさつ団」を募集し，自主的にあいさつができる児童を育てていく。
③　地域連携及び地域学校園で共通課題として，あいさつ運動を展開する。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域</td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
<tr>
<td>Ｂ２　児童は，きまりやマナーを守って，生活をしている。
【数値指標】
⇒児童・教職員の肯定的割合８０%以上</td>
<td>①　「みはらのきまり」をもとに全職員が同じ姿勢で指導や支援にあたる。
・「みはらのきまり」や「めざせ　スーパーみはらっ子」との関連をさせ，月の生活と健康目標を行動目標として設定し，校内放送を活用しながら，周知と振り返りの徹底を図る。
・重点指導内容を適宜取り入れ，強調週間として全校体制で指導に当たれるようにする。
・全児童がきまりやマナーを守って生活できるよう，委員会の活動をより充実させる。
・公共の場でもマナーやきまりを守ることができるように，日常の指導と合わせて，長期休み前の集会や交通安全教室等を活用し，全校児童への指導を徹底する。
②　全職員の共通理解の下，全校体制で組織的に支援に当れるよう，報告及び情報交換を確実に行っていく。
・児童の情報交換会や児童指導（毎月）の実施。
④　児童が廊下を歩いて移動することができるように，各クラスで作成したメッセージ入りの丸シールを廊下に貼り規範意識の涵養に努める。</td>
<td></td>
<td>【達成状況】
<table><tr><td></td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td></td></tr></table>
【次年度の方針】</td>
</tr>
</table>

	Ｂ３　学校は図書室を中心に児童に，本の楽しさを味わわせる活動に取り組んでいる 【数値指標】 ⇒児童・保護者の肯定的割合８０%以上	①　読書意欲の向上のための環境整備・指導の充実を図る。 ・読み聞かせの充実 ・朝の読書タイム ・読書月間の実施（委員会） ・家読のすすめ【親子読書等】 ・読書記録の活用 ・必読図書の活用 ・読書マッチョマンカードなどの多読賞 ・新刊本，お薦め本の紹介 ・本の予約やリクエストカードの活用 ・市立図書館の活用 ・図書館だよりの発行 ・地域学校園との連携した取組（「鬼怒の本棚」の発行，共通のマナーやお話給食など） ②　各種~~お~~便りを通じて，読書に親しむ児童の様子を発信することで，校内での読書活動への取組を児童・保護者に意識させると同時に，より本に親しもうとする雰囲気を醸成する。 ③　児童の読書意欲を喚起するために，図書室内外の展示コーナーを工夫する。		【達成状況】 R7　R8 児童 保護者 【次年度の方針】
	Ｂ４　学校は，人権尊重及び自他の生命や存在を大切にする児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒児童・保護者の肯定的割合 児童　９０%以上 保護者８５%以上	①　どの子にも居心地のよい学級づくりを目指す。 ・年間１回，授業参観時に道徳の授業を実施 ・Ｑ-Ｕテストの実施，事例研究会実施，活用 ・教育相談週間の実施 ・お互いの良さに気づく機会や環境づくり ②　人権教育を全校体制で推進し，自他を大切に思う心や態度・実践力の育成に努めるとともに，教職員対象の人権教育ワークショップを行い，教職員の人権意識も高めていく。 ③　児童の困り感や保護者からの相談に対して，きめ細やかな対応を行っていく。		【達成状況】 R7　R8 児童 保護者 【次年度の方針】
	○Ｂ５　学校は，「自分を伸ばし，仲間と伸びる児童」を育てる教育活動を工夫している。 【数値指標】 ⇒保護者・地域住民の肯定的割合８０%以上	①　児童の発想を生かした児童会活動や，仲間と力を合わせて取り組む学校行事や学年・学級行事の内容充実を図る。 ・委員会活動，クラブ活動，縦割り班活動 ・ドッジボール大会，長縄大会の実施 ・児童によるスローガン募集と運動会運営 ・児童集会の内容充実 ・チャレンジギネス等の活動 ②　授業の中に「学び合い」の場面を設定し，仲間と共に成長する姿勢を育てる。		【達成状況】 R7　R8 保護者 地域住民 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。